

第36回まちcomiリサーチ 『子どもの教育資金について』

ドリームエリア株式会社は、無料不審者情報配信ツール『まちcomiメール』を利用している保護者の方々を対象に、『子どもの教育資金について』のアンケートを実施いたしました。

7割の方が、教育費の心配をしている結果となりました。いったい皆さまはどのような準備をされているのでしょうか??

<調査概要>

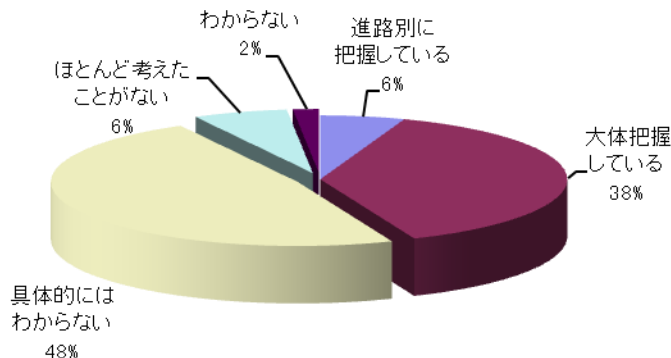
調査期間	2012年6月14日(木)～2012年6月17日(日)
調査方法	携帯サイト上のアンケートフォームにて回答
調査対象	『まちcomiメール』を利用した不審者情報を携帯で受信している保護者
調査対象数	884,324名
有効回答数	26,948件
寄付金額	今回26,948円 寄付先:NPO法人 チャイルドライン支援センター

<質問項目>

1	お子様が独立されるまで学費を含めてどの程度の費用がかかるか把握されてますでしょうか?
2	今現在、お子様の教育費の負担は大きいと思いますか?
3	お子様の教育資金用として一人あたりの貯蓄目標額はどれくらいでしょうか?
4	お子様の将来のための資金として何かご用意はしておりますでしょうか?
5	教育費を含めお子様にかかるお金について普段思っていることと近いのはどれですか?
6	家計について、一番節約したい項目はどれですか?
7	住宅購入の次に高いと言われる保険ですが専門家に相談することで保障内容をそのままに「保険料」を節約し家計の負担を軽くできる場合があることをご存知ですか?
8	お子様も含めた家族のライフプランについてプロのアドバイザーに無料で相談ができる無料体験モニターについて、どう思いますか?
9	お子様の学年を教えてください。(いくつでも)
10	職業を教えてください。

質問1: お子様は独立されるまで学費を含めてどの程度の費用がかかるか把握されてますでしょうか？

— 半数以上の方は、把握されていない。

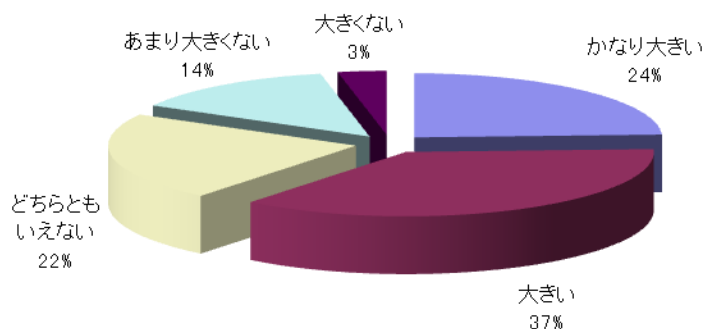


「わからない」「考えたことがない」方が54%と過半数となる一方、「進路別に把握」「大体把握」している方も44%と多くいらっしゃいました。

お子様にかかる費用の把握には、お子様の進路設計や独立される時期を描かれてみてはいかがでしょうか。

質問2: 今現在、お子様の教育費の負担は大きいと思いますか？

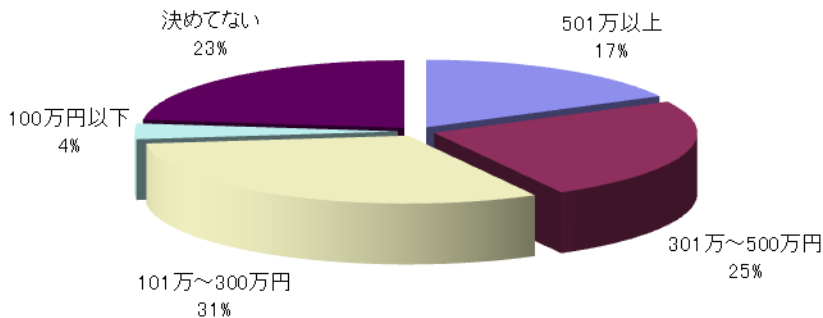
— 6割以上の方が負担が大きいと回答。



負担額を「かなり大きい」「大きい」と回答した方が61%。「どちらともいえない」も合わせて、8割以上の方が、日々のやりくりの中で何らかの工夫をされているようです。

質問3: お子様の教育資金用として一人あたりの貯蓄目標額はどれくらいでしょうか？

— 約3割の方が、101万円～300万円を貯蓄目標としている。

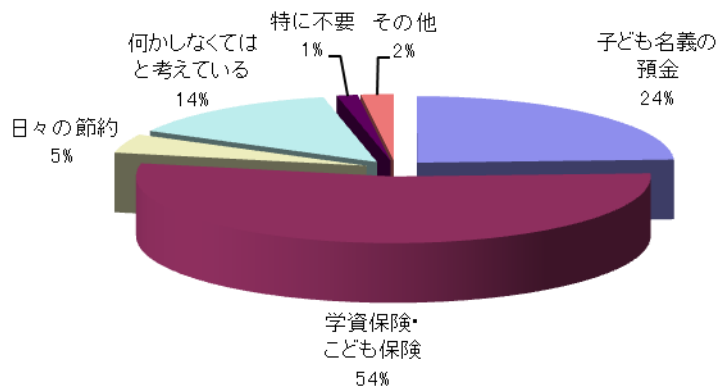


全体の4人に3人の方は、目標金額を設定されているようです。

3割の方が「101万円～300万円」、4割の方が「301万円以上」を貯蓄目標としていました。

質問4: お子様の将来のための資金として何かご用意はしておりますでしょうか？

— 半数以上の方が、保険を活用と回答。

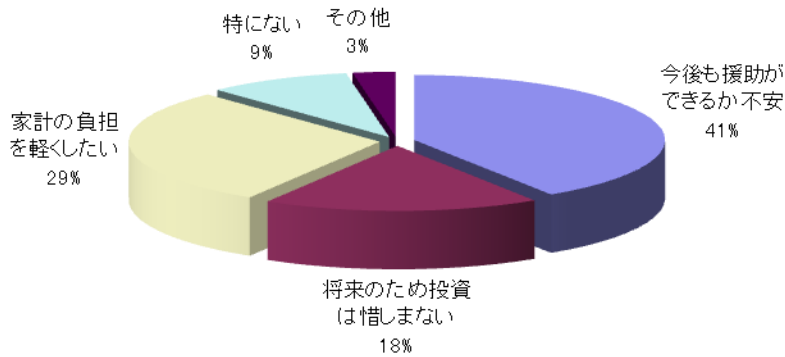


「学資保険・こども保険」が54%と半数以上の方が保険を活用されていました。

また、「何となく考えている」方も14%となり、何らかの準備は必要と考えているようです。

質問5:教育費を含めお子様にかかるお金について普段思っていることと近いのはどれですか？

— 7割の方が、現在および将来にわたって教育費の心配をしている。

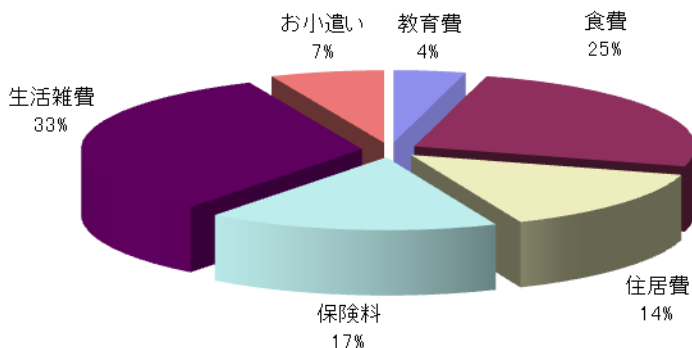


7割の方が、現在の「家計の負担を軽くしたい」または「今後も援助ができるか不安」と将来を心配されています。

一方「将来のための投資は惜しまない」方も18%おり、いずれにせよ、9割近くの方は、相当額のお金をお子様にかけている結果になりました。

質問6:家計について、一番節約したい項目はどれですか？

— 約6割の方が、日常にかかる費用を節約したい。

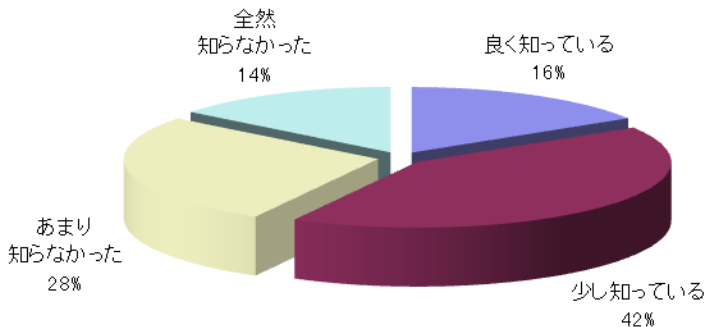


58%の方が「生活雑費」「食費」といった日常に必要なものの節約を意識していることが分かります。

「保険料」「住居費」もそれぞれ大きな費用なだけに、3割近くの方が節約を望まれています。

質問7:住宅購入の次に高いと言われる保険ですが専門家に相談することで保障内容をそのままに「保険料」を節約し家計の負担を軽くできる場合があることをご存知ですか？

— 約6割の方が専門家への相談による保険料の節約を知っている。

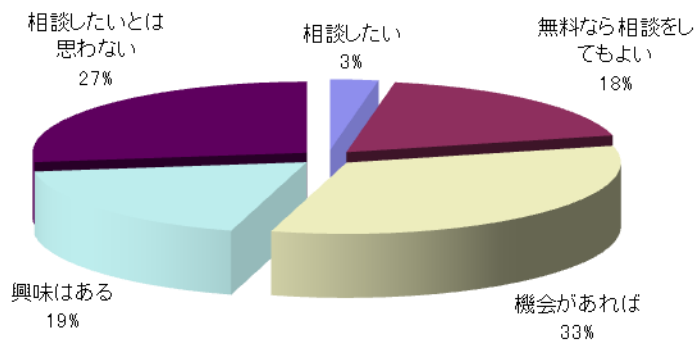


約6割の方が保険の専門家であるファイナンシャルプランナーの役割を知っているという結果になりました。

中立の立場でアドバイスをするファイナンシャルプランナーを上手に利用されてはいかがでしょうか。

質問8:お子様も含めた家族のライフプランについてプロのアドバイザーに無料で相談ができる無料体験セミナーについて、どう思いますか？

— 4人に3人は、無料体験相談をしたい・興味があると考えている。

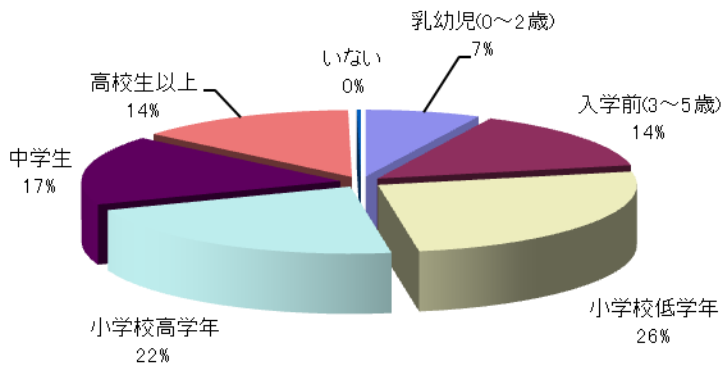


21%の方がファイナンシャルプランナーへ相談をしたいと回答され、「興味はある」方も含めると約4人に3人は保険の相談に肯定的な意見となりました。

現在の保険の契約内容に不満や不安がある方が多いのではないのでしょうか。

質問9: お子様の学年を教えてください。(いくつでも)

— 約8割の方が幼・小・中学校の保護者の方。

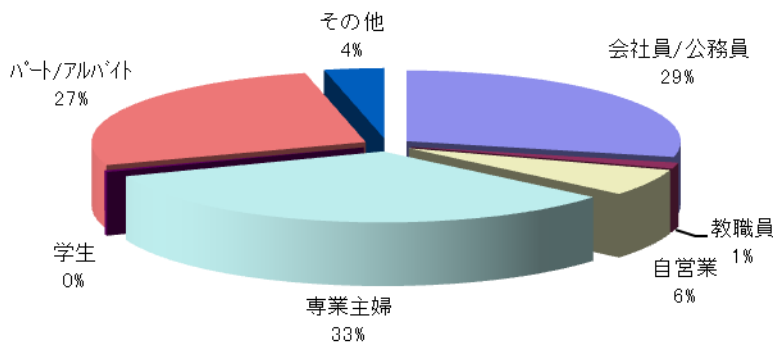


小学生のお子様は48%。小中の義務教育のお子様は65%。就学前のお子様は21%となりました。

子育て真っ最中の保護者の方にご回答いただきました。

質問10: 職業を教えてください。

— 3人に1人は専業主婦の方。



専業主婦の方が33%。何らかの仕事をしている方が63%となりました。

～まちcomiリサーチ:寄付金報告～

まちcomiリサーチでは、【回答いただいた人数×1円】を各ボランティア団体やNPO法人へ寄付させていただいております。今回の皆様のご協力による寄付額と、現在までの合計額をご報告させていただきます。

第36回リサーチは、ご回答いただいた人数×1円をまちcomiから「[NPO法人チャイルドライン支援センター](#)」へ寄付します。

今回は、子どもたちが困惑していることや不安な気持ちを受けとめ、自分らしく生きることをサポートするため子どもたちの心の叫びを受け止める活動をされている、「チャイルドライン」へ微力ながらご支援させていただきます。

=[子どもの心に寄り添う電話「チャイルドライン」](#)=
フリーダイヤル 0120-99-7777
(月曜日～土曜日 午後4時～午後9時)

■ 今回の寄付額: 26,948円

■ 今回までの合計額: 579,331円

■ 今回の寄付先: [認定特定非営利活動法人 チャイルドライン支援センター](#)

◆ 今までに寄付をさせていただいた施設

- ・NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク オレンジリボン
- ・NPO法人 チャイルドライン支援センター
- ・国際援助団体(NGO) セーブ・ザ・チルドレン